

## アカアシクワガタ神戸市内での記録

山本 勝也

アカアシクワガタ *Dorcus rubrofemoratus* (Vollenhoven, 1865) は、沖縄県を除く日本全土に分布するクワガタムシである。北海道では平地に普通であるが、他所では主としてブナ帯などの山地に棲息し、沢沿いのヤナギ類の枝に集まっている個体を見かけることが多い。

今回、神戸市内で採集された本種の標本を検査する機会があった。ここにその記録を報告する。

1 ♀, 神戸市須磨区神の谷, 21.VII.1988, 三木進採集, 標本所蔵

当時、氏のお住まいであった、大山寺裏山南東側にあたる、山沿いにある中層住宅の踊り場の照明にきたものを採集されたとお伺いした。氏は県北部氷ノ山あたりで多数の本種を見ておられ、アカアシクワガタの特徴は良くご存知であった。神戸では初見であったので、あえて採集されたことを記憶しておられた。

本種は低山地でも少ないながら記録があり、兵庫県内での記録は川西市笹部、大和(?), 多可郡寺山(?)がある。北摂ではクヌギに集まる、との報告がある。

今回の記録は偶産の可能性もあるが、県内のクワガタムシ科の分布を考える上での一つの資料としたい。

標本を検査する機会を与えられた三木進氏に感謝申し上げます。

### ○参考文献

田中正浩, 1987. 昆虫と自然, 22(7): 14

兵庫昆虫同好会事務局編・高橋寿郎, 2000. きべりはむし, 28(2): 51

山本勝也ら, 2010. 兵庫県のカブトムシ・クワガタムシ神戸元町・夏の昆虫館 2010 参考資料

(Katsuya YAMAMOTO 神戸市須磨区)